

週 報



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



「ロータリーの原点に戻る」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 豊田裕康

地域社会の経済発展月間

第3279回例会	No.09	2021. 10. 27	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分	「それでこそロータリー」	
四つのテスト	黒岩久登 君		
ゲスト	日南高等学校 八木泰晴君 (2年) 鬼東鈴音君 (1年) 西岡水保先生 日南学園高等学校 山下祐里奈さん (理数科3年) 近藤献時先生 日南振徳高等学校 川崎茉奈さん (経営情報科3年) 日南看護専門学校 山元季恋さん (2年) 宮崎福祉医療カレッジ 仮屋里奈さん (介護実習の為欠席)		
例 会 行 事	「わかば奨学会」奨学金授与式		

会長時間

1 本日はまず、先週のガバナー公式訪問時にガバナーから指摘のあった点についてご報告したいと思います。

次年度に向けて検討して欲しいと指摘のあった点は、

- ① 現在日南RCでは会長エレクトが副会長となっていますが、会長不在時に会長の職務を代行する以上(この点は細則にも規定があります) 会長未経験のエレクトではなく、過去の会長が副会長になるべきではないか、という点と、
- ② 組織表で、広報委員会とありますが、定款では「公共イメージ」となっていることから、広報という言葉を残すのであれば「広報・公共イメージ」委員会としてはどうか、という2点となります。

次年度に向けての議論となりますが、会員の皆様からご意見がございましたら、どんどんご指摘いただければと思います。

2 次に、先日の24日日曜日は、世界ポリオデーでした。

本日はゲストの皆さんに大勢おこしいただいておりますので、ポリオとロータリーの関わりについてご説明したいと思います。

まずポリオについてですが、ポリオは別名小児麻痺とも言われ5歳以下の子供に感染する確率が高く、感染者の0.1～0.2%に重篤な麻痺が発症する病気です。しかし、ワクチン接種による予防が可能な病気で、現在の日本でも就学前にほとんどの人がワクチン接種を終えています。日本では1980年を最後に発症していないのですが、本年5月現在で海外35カ国がポリオ発生国と認定されており、WHOにより「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言が引き続き出されています。したがって、今後海外からポリオ感染者が入国して日本国内で感染者が発生する可能性は十分あり、油断はできません。そこで、35カ国のポリオ発生国(近くでは中国やフィリピン)に入国する際には、ポリオワクチンを追加接種することが外務省により推奨されています。

35カ国のポリオ発生国のうち、ワクチン由来以外の野生株のポリオが発生しているのは、アフガニスタンとパキスタンの2か国のみです。ポリオの根絶までの道のりはまだ長いとされていますが、当面はこの2か国での野生株を根絶することが目標とされています。

世界で見ると、貧困や内戦などにより幼い子供達へのワクチン接種が十分にできずにポリオの感

染が収まらない地域がポリオ発生国となっているケースが多くあります。そういった状況を改善しポリオを根絶するため、国際ロータリーは1985年にポリオプラスを立ち上げ、これまでに22億米ドル以上を寄付し、122カ国約30億人以上の子供へのワクチン接種のボランティア活動を行ってきました。

さきほど申し上げた野生株のポリオ発生国であるアフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、ワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しており、幼い子供達へのワクチン接種が思うように進まない地域もあります。そこで、国際ロータリーでは、ユニセフなどと協力して予防接種への認識を高める資料を作成・配布するなどしてこれら2カ国でのワクチン接種の促進に努力をしているところです。

1988年以来ポリオの発症数は99.9%減少していますが、ポリオ根絶までにはまだまだ油断できない状況が続いております。日本では、天然痘の世界根絶宣言がされた年と同じ1980年を最後にポリオの発生はありませんが、世界ではまだポリオの緊急事態宣言が出されている最中でありますから、油断することなく世界のポリオ根絶運動を支援することが必要だと思います。

最後に、事務連絡となりますが、再来週 11 月 10 日の 11 月第一例会の終了後に、会長選考委員会を開催致します。奇数代のパスト会長の皆様はご参加をお願い申し上げます。

幹事報告

1) 振徳高等学校より、振徳通信が届きましたので回覧致します。

スマイル

築瀬 敦君 今年度の公式訪問報告書の作成の於いて、会員の名簿抜けがありました申し訳ございません。

守永裕一君 10月19日でとうとう還暦が来てしまいました。60歳じじーだなー！！

日高章太郎君 ガバナー公式訪問、ご協力ありがとうございました。

例会行事

「わかば奨学会」奨学金授与式



日南高等学校 八木泰晴君 (2年)

この度はわかばロータリークラブの奨学金給付に採用して頂き、ありがとうございます。

私は中学一年生の時、ホームステイの受け入れを通して、海外の生徒と交流する中で言語を学ぶ楽しさを知り、入れを通して、海外の生徒と交流する中で言語を学ぶ楽しさを知り、現地の文化や生きた英語に触れたいという強い思いから、高校での留学を見据えて進学しました。

そして昨年、カナダでの1年間の留学最も学ぶことの多かった一年間でした。留学先の学校に編入してすぐに私は語学力の無さを感じ、今まで小・中・高と長きにわたって学習してきた文法は、アウトプットするという点においてほとんど無力だということを実感しました。小さいころから異文化に興味があり早く理解しようと色々なことに貪欲に挑戦しました。その中でできた友達は、カナダ人はもちろん、アジアやヨーロッパからきた留学生あることを改めて実感しました。

私はこれらの経験から英語力の向上に限らず、毎日積み重ねることの大切さを学ぶきっかけとなり、私自身、大きな成長を感じ、言語を学ぶその過程が一番楽しいことに気づきました。私は将来、英語力を活かして、いろいろな人と関わる職業に就きたいと考えています。例えば日南への海外企業への誘致、留学生の受け入れの拡大など日南と海外の架け橋として、日南市をより活性化させるために尽力したいと考えています。そのために必要となるのは資格です。英語検定では1級を、世界共通の英語技能テストIELTSでは高得点を目指して日々、英語力を向上させます。今回いただいた奨学金は受験費用等に使用させていただきます。

最後になりましたが、ご支援いただいた方々に深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

日南高等学校 鬼束鈴音君 (1年)

私は、幼かった頃、周りの子供たちに比べて病弱だったため病院に行く機会が多くありました。そこで、いつも診察してくれる先生の患者の話をよく聞こうとする姿勢や丁寧な対応を見て、そのやさしさ、かっことよさに憧れ、いつの日か私は将来医師に医師の需要は高くなっていると思います。そのため、医師になり、



少しでも地元のために貢献したいと思っています。

将来医師になり、たくさんの人を助けたい。この夢を叶えるために、必要なことは大きく分けて3つあると思います。

一つ目は、高い学力を身に付けることです。医師になるためには、大学に進学し、6年間学び国家試験に合格したうえで、2年間の研修を受けるというたくさんの段階を踏まなければなりません。そのため、学校の授業だけでなく家での予習や復習をするなど、自学自習も頑張っていきたいと思っています。

二つ目は、人と関わる中で大事になる力を身に付ける又は伸ばすことです。医師になれば、患者やその家族、他の医療関係者など様々な立場、性格の人と関わる機会が多くあります。その際に、相手の考えや状況を正しく理解し、適切な対応、処置をと観的に物事を見る力を身に付けていきたいです。

三つ目は、金銭面についてです。教材購入や大学進学など学ぶためにもお金は必要になります。ですが、学生である私にとって、お金を稼ぐことはとても困難なことです。この点において、今回の給付金を頂けることに本当に感謝しています。このお金自然豊かで、人々が明るいこの日南で、学べていることに感謝を忘れず、夢を叶え、地元貢献していくために、これからの高校生活を充実したものになるようにしていきます。

この度はこのような場を設けていただき、ありがとうございました。

日南学園高等学校 山下祐里奈さん (理数科3年)



日南学園高等学校理数科3年の山下 祐里奈です。この度は、奨学生として採用いただき、心からお礼申し上げます。

私は将来、メディアに関する仕事に携わりたいと思っています。そのために、大学では語学力を向上させるとともに効果的な情報の発信方法について深く学びたいと考えています。私が表現することに興味をもったきっかけは4歳の時に始めた日本舞踊です。

日本舞踊は、所作や衣装を変化させることで年齢や性別に関わらず、あらゆる人物になって踊ることができ、私は、自分次第でどこまでも表現できる日本舞踊の世界に夢中になりました。また、私は病院や老人ホームのイベントなどで踊りを披露する機会が多くあったのですが、患者さんが私の踊りを通して笑顔になったのを見たときは、大きな喜びとやりがいを感じました。日本舞踊は私に、自分の想いを表現する楽しさを教えてくれたのです。そして、もう一つ、表現することに興味をもった出来事があります。私が小学校5年生のとき、「こんな日南になったらいいな」という市役所が主催する会に出席しました。それは、小中学生が子ども目線で、市に対して提案をするというものです。私は、地元の日南の魅力をより多くの人に広めたいと考えていたため、その会で日南のカルタを作りたいと提案しました。そして、高校一年生のとき、提案したカルタが完成したのです。「にちなんおもしろカルタ」として、現在は日南市内の小中学校に配布されています。

この経験から、自分の意見を伝える大切さを学ぶとともに、物事の魅力を表現する面白さを知りました。そして、どのように表現すればそれを十分に伝えることができるか、より深く学びたいと思うようになりました。メディアに関する仕事に携わるうえで、私が大切にしたいことは言葉の使い方です。今日の世界では、ネット上で的人権侵害問題が多く発生しています。大学では、高いレベルの語学力を身につけ、より豊かな社会の実現に貢献できるようになりたいと考えています。また、多様なメディアを分析し、その功罪を研究することで、より柔軟な情報発信に役立てたいと考えています。そして、大学卒業後はメディア関係の会社で働き、大学で学んだ語学や情報学を活用しながら、世界中へ情報発信していきたいです。また、地元の日南の魅力を多くの人に伝えられるよう、広報の仕事に尽力するつもりです。最後に、たくさんの方々へ支えて頂いていることへの感謝の気持ちを忘れず、一步一步成長していきます。本当にありがとうございます。

日南振徳高等学校 川崎茉奈さん (経営情報科3年)



日南振徳高等学校 経営情報科 3年の川崎と申します。この度は、わかば奨学生として選んで頂き、ありがとうございます。

私は将来ゲーム産業のマネジメントに関する仕事につきたいという夢があります。その理由として、ゲーム産業はAIやVR、ARなど技術の発展と共に日々変化し、世界中に「新しさ」や「楽しさ」を与え続ける点にとっても魅力を感じたからです。

その中でも、マネジメントに関する仕事に就きたいのは、現在リーダーとして参加している台湾との交流事業で、メンバーと役割分担をしながら、意見を出し合い作業計画を立て、息詰まったらお互いアドバイスをする過程に楽しさを感じ、ゲーム制作プロセスに欠かせない「共働」の部分に通ずるものがあると思ったからです。

その夢を実現させるために福岡大学商学部に進学し、そこでクリエイティブ・マネジメント方法、企画やマーケティングについての幅広い知識を身につけたいと考えてみました。

しかし、新型コロナウイルスの影響でサービス業で働く両親の仕事が昨年からの激減し、経済的に苦しい状況に陥り、福岡大学へ進学することに不安や迷いを感じるようになりました。

そんな時にわかば奨学生として選んで頂いたおかげで、経済的余裕ができるだけでなく、夢を実現させるための勉学に集中して励むことができます。

奨学金を頂くことに感謝して、最後まで真面目に高校生活をおくり、進学後も立派な大学生として自立できるよう努力致します。

本日は、私をわかば奨学生に選んで頂き誠にありがとうございました。

日南看護専門学校 山元季恋さん (2年)



私は日南看護専門学校の2年の山元季恋です。この度は、わかば奨学生に採用していただきありがとうございます。

私は、中学生の時に産科を舞台にした「コウノドリ」というドラマを見て助産師という職業に興味を持ちました。実際に働いている助産師の姿が見てみたいと思い、高校生の時に看護体験に参加しました。直接接することで、私も妊婦さんに寄り添い妊婦さんやその家族に頼られる助産師になりたいと強く思いました。

そして、助産師になるための第一歩として看護学校に入学しました。2年生の現在は、講義が中心となります。特に母性看護学の講義は、将来目指す助産師の第一歩として、楽しみにしていた講義でした。妊娠中の体の変化や分娩、産褥の知識など多くのことを学んでいます。講義で分からなかったところや課題でつまずいたところは、周りの友達と一緒に考えたり積極的に先生に質問しに行ったりしています。1月からは、本格的に臨地実習が始まります。2年生の5月の実習は、新型コロナ感染症拡大のため学内実習となりました。不安もありますが、直接患者さんと接することができることを期待しています。実習と勉強の両立は大変ですが多くの学びを身につけたいと思います。

卒業後は助産学校に進学しさらに専門的な知識や技術を身に付けていきたいと思っています。私は、将来臨床にでたら妊産婦さんの心の声に気づき一人ひとりに合った看護を提供できるようになりたいです。ご支援していただいた奨学金は将来のために役立てていきたいと考えています。また、わかば奨学生として今後もより一層日々の学習に取り組んでまいります。最後になりましたが、ご支援をくださったすべての方々にお礼申し上げます。

宮崎福祉医療カレッジ 仮屋里奈さん (介護実習の為欠席)

この度はわかば奨学生の選考につきまして許可いただき誠にありがとうございます。私は高校卒業後より宮崎市でシングルマザーとして2人の子育てをしていました。そのとき、時折地元の日南市に帰省した際に自然や人の温かさなど、たくさんの魅力に改めて気づかされました。そして、またいつか日南市で子育てをしたと考えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、勤めていた飲食店も影響を受けて転職せざるを得なくなりました。

転職活動をしているとき、たくさんの介護の求人を目にして調べていくうちに、人のために働く介護職に大変興味を持ちました。そして介護福祉士の資格を取得して働いてみたいと考えていたところ、宮崎福祉医療カレッジで学べると知り、日南市に戻る決意をしました。

勉強してみて介護職は「人のために」という言葉がまさにあてはまる本当にやりがいのある仕事であると実感しております。

私は2年間、わかば奨学生の名に恥じぬよう学業に専念して、専門的知識と技術を身につけ、卒業後日南市の福祉に貢献できるよう努力いたします。そしてわかば奨学金をいただいた感謝の気持ちを忘れず、日々精進して参ります。

最後になりますが、日南ロータリークラブの皆様にお礼申し上げます。



奨学生の皆さん、将来の夢に向かって頑張ってください。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	32	8	24	17	3	4	20	83.33%
出席免除	落丸、村上、清水、渡邊、山口、甲斐、古澤、小玉							
先取MU	石崎、榎木田、菊池							
欠 席	石灘、斉藤、齋藤(奈)、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：豊田裕康 副会長：入中英雄 幹事：築瀬敦 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。